

令和4年度 第1回 埼玉県SDGs庁内推進本部会議

議 題

- (1) 令和3年度の実績について
- (2) 令和4年度の実績について

(1) 令和3年度の取組実績

● 『SDGs 未来都市』に選定

- 自治体におけるSDGs達成に向けた取組を推進するために、平成30年度に創設された国が選定する制度
- 経済・社会・環境の三側面における持続可能な開発目標を実現するポテンシャルが高い都市地域が選定。
- 埼玉県は令和3年5月21日に選定。

※全国で154都市が選定 (R4.5現在)

(都道府県では16道府県)



SDGs 未来都市
埼玉県

県が使用する
埼玉版SDGsのロゴ



(1) 令和3年度の取組実績

5 年計画の基本姿勢として反映

4 将来像の実現に向けた基本姿勢

2040年を見据えて、次の2点を計画の基本姿勢として掲げ、全施策を貫く横断的な視点として反映します。



① 埼玉版SDGsの推進

本県が目指す「日本一暮らしやすい埼玉」とは、「あらゆる人に恵みがあり、活躍でき、安心して暮らせる社会」です。

これは、「誰一人取り残さない」ことを掲げるSDGs*の基本理念に通じるものです。

SDGsとは、平成27年(2015年)の国連サミットにおいて加盟国(193か国)の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた、誰一人取り残さない持続可能な世界を2030年までに実現するための国際目標です。

SDGsの達成に向けては、一つの分野だけでなく、経済、社会、環境の三側面全てをバランス良く達成していく「三方よし」を意識することが重要です。

そのため、本県では各分野の所管部局が個別に施策を進めるのではなく、部局横断的に全庁が一丸となってSDGsの視点で施策の展開を図ります。

また、行政だけでなく県民、企業など民間主体も巻き込んで、SDGsの理念を広く浸透させるとともに好事例を横展開するなど、全県的な推進体制を構築します。

誰一人取り残さない「日本一暮らしやすい埼玉」の実現を目指し、全施策にSDGsの基本理念やゴールをリンクさせ、「ワンチーム埼玉」で推進していきます。

持続可能な世界を実現するための17のゴール



- 目標1 貧困をなくそう
- 目標2 飢餓をゼロに
- 目標3 すべての人に健康と福祉を
- 目標4 質の高い教育をみんなに
- 目標5 ジェンダー平等を実現しよう
- 目標6 安全な水とトイレを世界中に
- 目標7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 目標8 働きがいも経済成長も
- 目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 目標10 人や国の不平等をなくそう
- 目標11 陸の豊かさも守ろう
- 目標12 つくる責任 つかう責任
- 目標13 気候変動に具体的な対策を
- 目標14 海の豊かを守ろう
- 目標15 陸の豊かさも守ろう
- 目標16 平和と公正をすべての人に
- 目標17 パートナリシップで目標を達成しよう

「埼玉県5 年計画」の基本姿勢としてSDGsを掲げ、全施策を貫く横断的な視点として反映。

2 12の針路と54の分野別施策



■針路1 災害・危機に強い埼玉の構築

背景

本県に記録的な大雨と被害をもたらした令和元年東日本台風など、近年、

提供用



施策 36 デジタル技術を活用した県民の利便性の向上

担当部局 企画財政部 総務部 県民生活部 県土整備部 警察本部

施策内容

新型コロナウイルス感染症の拡大を契機として生活や働き方が大きく変化する中、行政サービスのデジタル化は急務となっています。また、今後本県は少子高齢化をは

3 将来像の実現に向けた基本姿勢(施策編)

「第1編 総論」の「4 将来像の実現に向けた基本姿勢」に掲げた2つの基本姿勢について、施策への反映状況を分かりやすく整理しました。

① 埼玉版SDGsの推進

本編「2 12の針路と54の分野別施策」の54施策と、SDGs*の17ゴールとの関連を整理しました。さらに、54施策の中から特にSDGsの達成につながる主な取組を、17ゴールごとに示しました。

		1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに
針路1	1 危機管理・防災体制の再構築	☐	☐	☐	☐
	2 大地震に備えたまちづくり	☐	☐	☐	☐
	3 治水・治山対策の推進	☐	☐	☐	☐
	4 感染症対策の強化	☐	☐	●	☐
	5 防犯対策の推進と捜査活動の強化	☐	☐	●	☐

(1)令和3年度の取組実績

● 「企業・団体等」向け施策

官民連携の場

埼玉県SDGs 官民連携プラットフォーム

- ・シンポジウム等による普及・啓発
- ・SDGs達成に向けた施策の検討

会員数 **920**者(R4. 3. 31現在)

自らSDGsに取り組むプレイヤーを登録

埼玉県SDGs パートナー登録制度

- ・「登録証」を付与、「埼玉県SDGsパートナー」ロゴ使用
- ・埼玉りそな、武銀、県内4信金がパートナー向けのESG商品を用意

登録者数 **636**者(R4. 3. 31現在)



埼玉県

ONE TEAM SAITAMA

SDGsパートナー



埼玉りそな銀行 ESG目標設定特約付融資「Try Now」

まっすぐ、あなたへ。



武蔵野銀行

「むさしのサステナビリティ・リンク・ローン」



埼玉県信用金庫

SDGsパートナー企業応援宣言



地域の皆さまと共に歩む

川口信用金庫

SDGsサポートローン【GOALS】

First Call Shinkin Bank

地域一番の金融サービスを目指して

青木信用金庫

埼玉版SDGs推進融資【パートナー】



ひと、まち、きずな大切に。

飯能信用金庫

SDGs応援ローン

(1) 令和3年度の取組実績

● 「県民」 向け施策

SDGsアプリの開発



ポイント付与メニュー	
	毎日SDGsチェック 10P
	SDGsクイズ 10P
	動画を見る 10P
	コラムを読む 30P
	イベントに参加する 50P
	アンケートに答える 50P~
	アプリを紹介する 10P~



令和3年11月、動画やテキスト・クイズなどでSDGsを楽しく理解できるアプリをリリース

ダウンロード数 **3,380DL**
(令和4年3月31日現在)

自治体、企業、団体等が実施するSDGs関連イベントを随時発信

各部局のイベント掲載を随時受付中
(※問合せは計画調整課まで)

(2)令和4年度の取組

県民や企業、NPO、大学、金融機関、各種団体など多様なステークホルダーとの協働を通じ、ワンチーム埼玉でSDGsを推進

企業・団体等

取組へのサポートを充実

理解促進

企業・団体等のSDGs活動の進め方に関するセミナーの開催等

取組支援

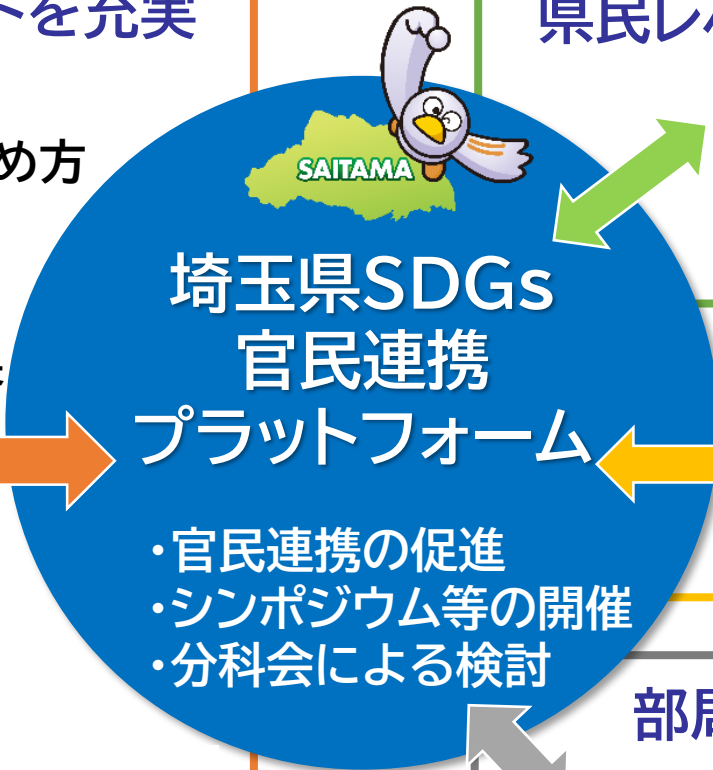
企業・団体等の環境・社会・経済の三側面の取組支援

登録

SDGsに取り組む企業・団体等を登録する埼玉県SDGsパートナー制度



埼玉県
SDGsパートナー



県民レベルの参加促進

- ・アプリ「エスキューブ」の機能向上
- ・「エスキューブ」のさらなる普及
- ・学校・イベント等による意識醸成

県民

市町村

連携して全県展開
先進的SDGs事業への支援

埼玉県

部局横断で推進

- ・埼玉県SDGs庁内推進本部での展開
- ・全施策を貫く横断的な視点として5か年計画に反映
- ・SDGsに取り組む企業への新たな支援策を検討

(2)令和4年度の取組

● 令和4年度目標値の変更 (案)

埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム

R3末会員数: 920者 当初目標: **1,200**者
(令和4年度末)  **1,500**者
(令和4年度末)

埼玉県SDGsパートナー登録制度

R3末登録者数: 636者 当初目標: **700**者
(令和4年度末)  **1,000**者
(令和4年度末)

(2) 令和4年度の取組

● 官民連携での事業検討

埼玉版SDGs重点テーマ

- ① 「埼玉の豊かな水と緑を守り育む」分科会 (令和3年4月設置)
- ② 「未来を創る人材への投資」分科会 (令和3年4月設置)



➡ 引き続き分科会で事業内容を検討

【令和4年度の進め方】

- ・プラットフォーム会員に向けて、分科会において検討する事業を募集
- ・応募のあった事業についてマッチングし、官民連携で検討
- ・民間活力の導入など県の既存事業への新たな手法を検討
- ・民間事業者同士が実施する事業も積極的に検討

(2)令和4年度の取組

●官民連携の取組

連携先	内容
テレ玉（4月）	「テレ玉SDGs推進キャンペーン」の協賛金の一部を県の基金に寄附
イオンモール川口（4月）	衣類回収イベント「幸服リレー」の実施 (SDGsの内容紹介、エスキューブのPR)
武蔵野銀行（5月）	本店ロビーで県のSDGsの取組をPR
イオンモール春日部（5月）	学習イベント「SDGs 17の目標をワークショップで学ぼう」の実施 (SDGsの内容紹介、エスキューブのPR)

イオンモール川口(4月)



武蔵野銀行本店(5月)



各部局でも官民連携の
取組の推進をお願いします！